留萌中部連携地域広域人材確保推進事業　地域連携ビジョン

（令和８年度～令和 11 年度）

令和８年 11 月 11 日策定

苫前町、羽幌町、初山別村

1　連携地域の名称及び構成町村

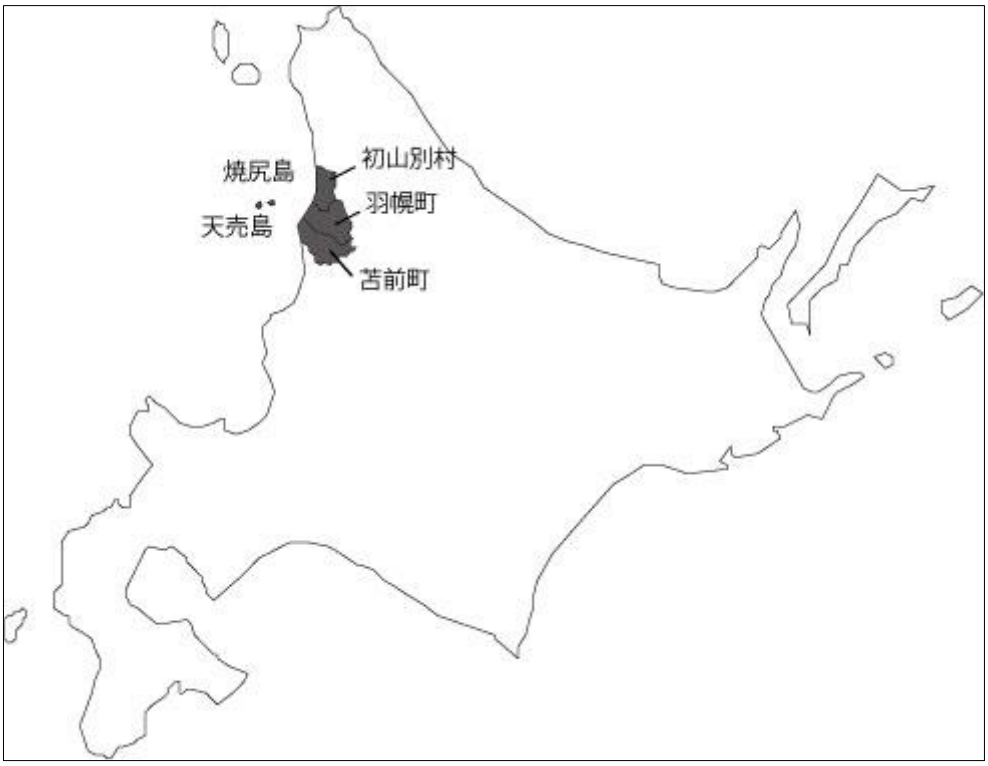
(1) 連携地域の名称

留萌中部連携地域

(2) 構成町村

苫前町、羽幌町、初山別村

(3) 連携町村の位置関係



2　地域連携ビジョンの目的

本ビジョンは、北海道が定める広域連携強化事業推進要綱第３により策定した地域連携協定「留萌中部連携地域の広域人材確保推進に関する協定書（令和８年 11 月 11 日締結)」に基づき、連携町村が推進していく具体的な取組の

内容を明らかにするものである。

３　地域連携ビジョンの取組期間

令和８年度から令和11年度までの４年間とし、毎年度所要の見直しを行う。

４　連携地域の将来像

【課題】

苫前町、羽幌町及び初山別村の３町村からなる本地域は、北海道の北西部に位置し、東に天塩山系、西に雄大な日本海を望む起伏に富んだ地勢が特徴である。地域内には、「風のまち」として知られる広大な農山漁村風景（苫前町）や、世界的にも珍しい海鳥と人が共生する「天売島」・緑と原生花に囲まれた「焼尻島」の２島（羽幌町）、美しい星空や豊かな自然に恵まれた田園風景（初山別村）など、それぞれに特色ある豊かな自然環境と地域資源を有している。

近年、本地域においても、人口減少や少子高齢化の進展により、基幹産業である農業や漁業をはじめ各分野で地域を支える担い手不足が深刻化しており、将来的な地域活力の維持・継続が喫緊の課題となっている。さらに、この深刻な人手不足は民間分野にとどまらず行政職員においても例外ではなく、地域と行政の双方で機能を維持できるかという強い危機感を抱いている。

人口減少が一段と加速する見通しの中、自治体経営の持続性を保つには、内部での人材育成に頼るだけでなく、外部から新たな担い手を呼び込んで地域活力やコミュニティの維持を図ることが急務となっている。

【人口（各年・推計）】

（単位：人,%）

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2025年比（2050年）
苫前町	3,265	2,936	2,554	2,272	2,004	1,770	1,558	1,361	53.3
羽幌町	7,327	6,548	5,641	5,192	4,588	4,038	3,536	3,088	54.7
初山別村	1,217	1,080	942	822	721	634	559	482	51.2
３町村 計	11,809	10,564	9,137	8,286	7,313	6,442	5,653	4,931	54.0
全道 計	5,381,733	5,224,614	4,980,272	4,791,566	4,562,362	4,319,217	4,067,642	3,820,016	76.7
全国 計	127,094,745	126,146,099	122,972,528	120,115,783	116,638,900	112,837,404	108,801,339	104,686,386	85.1

※2025年までは国勢調査による人口、2030年以降は国立社会保障・人口問題研究所による人口推計

【連携地域形成の経緯】

当連携地域の推進母体である留萌中部地域振興協議会は、本地域がもつ雄大な自然景観と恵まれた資源を積極的に活用し、特色ある産業の形成と経済の活性化の促進及び地域の振興に資することを目的として平成２年に発足した。

人口減少や少子高齢化に伴う担い手不足により、将来的な地域活力の維持が喫緊の課題となる一方で、コロナ禍を経て地方暮らしへの関心が高まるなど、人々のライフスタイルや価値観は多様化している。このような社会情勢の変化をとらえ、当協議会では観光でも移住でもない「関係人口」の創出・拡大を図り、将来的な外部人材の確保を見据えた持続可能な地域づくりに取り組んでいる。

【目指す姿】

本事業を通じて、関係人口や外部人材を継続的に呼び込み、地域との多様なつながりを深める。これにより、各町村における深刻な担い手不足を補い、住民が安心して暮らせる地域社会や不可欠な生活サービスの維持を図り、将来にわたる持続可能な地域づくりを推進する。

そのための基盤として、居住環境やしごと情報などの多角的な情報を一体的に発信・提供して留萌中部エリアの認知度向上を図るとともに、首都圏における継続的な相談体制を構築する。

５　地域連携協定に基づき推進する取組

(1) 取組分野

留萌中部連携地域の広域人材確保推進に関する協定書（令和８年 11 月　日締結）（抄）

（連携する政策分野及び具体的取組）

第５条　連携町村は、資源制約に対応するための地域マネジメント等に係る政策分野（外部からの行政及び民間人材の確保）について連携して取組を推進する。

２　連携町村は、前項の政策分野に基づき、地域外人材の確保・定着促進の取組を推進する。

【取組】

取組分野	地域外人材の確保・定着促進
事業主体	苫前町、羽幌町、初山別村
方針	人口減少に伴う深刻な担い手不足を克服し、将来にわたって地域の活力を維持するため、3 町村が連携して首都圏のイベント等で地域の魅力を PR し、地域外からの効果的な人材確保を図る。
主な取組	首都圏における地域魅力 PR 及び人材募集情報の提供
期待される効果	首都圏において PR を行うことにより、「留萌中部エリア」の認知度が向上し、移住検討の潜在層や UIJ ターンを希望する若年層との接点が拡大する。これにより、地域の活性化や特産品開発などを直接担う「地域おこし協力隊」の候補者や、専門性・多様な経験を持つ行政人材の確実な掘り起こしと確保につながる。
成果指標 （KPI）	・イベントにおける相談件数　100 件以上／年 ・地域外人材の職員等採用（委嘱）実績 一般職　令和 11 年度までに 9 名 地域おこし協力隊　令和 11 年度までに 12 名
スケジュール	令和 8 年度～令和 9 年度： 都市部で開かれる移住イベントの出展 令和 10 年度～令和 11 年度： イベント出展に加え 3 町村独自での募集相談会の開催

(2) 事業主体

苫前町、羽幌町、初山別村

(3) 推進体制

留萌中部地域振興協議会が推進母体として全体調整・事務局業務を担う。